

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 11 月 4 日 (2021.11.4)

【公開番号】特開 2020-18594 (P2020-18594A)

【公開日】令和 2 年 2 月 6 日 (2020.2.6)

【年通号数】公開・登録公報 2020-005

【出願番号】特願 2018-144497 (P2018-144497)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 9 月 24 日 (2021.9.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の判別条件が成立したことに基づいて判別を実行する判別手段と、
その判別手段の判別結果が予め定められた特定の判別結果となったことに基づいて、遊技者に有利な特典遊技を実行する特典遊技実行手段と、
識別情報を表示可能な表示手段と、

前記判別手段の判別が実行されたことに基づいて、前記判別手段の判別結果を示すための前記識別情報が前記表示手段において動的表示される演出態様を少なくとも含む所定の演出を実行可能な演出実行手段と、を備えた遊技機において、

第 1 の設定条件が成立したことに基づいて所定の遊技状態を設定し、前記第 1 の設定条件とは異なる第 2 の設定条件が成立したことに基づいて前記所定の遊技状態を設定する所定遊技状態設定手段を備え、

前記遊技機は、

前記第 1 の設定条件が成立したことに基づいて設定された前記所定の遊技状態において、前記第 2 の設定条件が成立したことに基づいて設定された前記所定の遊技状態で実行される前記所定の演出には含まれない特定の演出態様が含まれる特定演出を実行可能であり、

前記特定演出の実行中に、前記判別手段による判別の有利度合いを動的表示されている前記識別情報を用いて示唆可能であり、

前記第 1 の設定条件が成立したことに基づいて設定された前記所定の遊技状態において前記特定演出が終了した後は、次に前記第 1 の設定条件が成立するまで前記特定演出が実行されない構成であり、

前記特定演出は、前記所定の遊技状態よりも遊技者に有利な特定遊技状態において実行されない演出であることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記第 2 の設定条件は、前記特典遊技が終了した場合に成立する条件であり、

前記第 1 の設定条件は、前記遊技機の設定が初期化された場合に成立する条件であることを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【請求項 3】

前記遊技機は、前記所定の遊技状態が設定されてから、予め定められた特定回数の判別に渡って連続して前記特定の判別結果とは異なる外れ判別結果となったことに基づいて、前記特定演出を実行可能な構成であることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の遊技機。

【請求項 4】

前記判別手段による判別の有利度合いに対応する特定要素を、第 1 の有利度合いに対応する第 1 状態と、前記第 1 の有利度合いよりも高い第 2 の有利度合いに対応する第 2 状態と、を少なくとも含む複数のうち 1 の状態に設定することが可能な特定要素設定手段と、

前記特定演出の種別として、前記第 2 状態よりも前記第 1 状態の方が実行される割合が高くなる第 1 特定演出と、前記第 1 状態よりも前記第 2 状態の方が実行される割合が高くなる第 2 特定演出と、を少なくとも含む複数のうち 1 の種別を決定する種別決定手段と、を備えることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれかに記載の遊技機。

【請求項 5】

前記種別決定手段は、前記特定演出の種別として、前記第 1 特定演出と、前記第 2 特定演出と、前記第 2 状態では実行され得るが前記第 1 状態では実行され得ない第 3 特定演出と、を少なくとも含む複数のうち 1 の種別を決定可能な構成であることを特徴とする請求項 4 記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

パチンコ機等の遊技機には、始動入賞口への遊技球の入賞に基づいて行われる抽選の結果が当たりだった場合に、当たり状態へと移行するものがある。かかる遊技機の中には、例えば、有利度合いの異なる複数の当たり種別を設けることにより、興趣向上を図っているものも存在する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

この目的を達成するために請求項 1 記載の遊技機は、所定の判別条件が成立したことに基づいて判別を実行する判別手段と、その判別手段の判別結果が予め定められた特定の判別結果となったことに基づいて、遊技者に有利な特典遊技を実行する特典遊技実行手段と、識別情報を表示可能な表示手段と、前記判別手段の判別が実行されたことに基づいて、前記判別手段の判別結果を示すための前記識別情報が前記表示手段において動的表示される演出態様を少なくとも含む所定の演出を実行可能な演出実行手段と、を備え、第 1 の設定条件が成立したことに基づいて所定の遊技状態を設定し、前記第 1 の設定条件とは異なる第 2 の設定条件が成立したことに基づいて前記所定の遊技状態を設定する所定遊技状態設定手段を備え、前記遊技機は、前記第 1 の設定条件が成立したことに基づいて設定された前記所定の遊技状態において、前記第 2 の設定条件が成立したことに基づいて設定された前記所定の遊技状態で実行される前記所定の演出には含まれない特定の演出態様が含まれる特定演出を実行可能であり、前記特定演出の実行中に、前記判別手段による判別の有利度合いを動的表示されている前記識別情報を用いて示唆可能であり、前記第 1 の設定条件が成立したことに基づいて設定された前記所定の遊技状態において前記特定演出が終了した後は、次に前記第 1 の設定条件が成立するまで前記特定演出が実行されない構成であり、前記特定演出は、前記所定の遊技状態よりも遊技者に有利な特定遊技状態において実行されない演出である。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0009
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0009】

請求項4記載の遊技機は、請求項1から3のいずれかに記載の遊技機において、前記判別手段による判別の有利度合いに対応する特定要素を、第1の有利度合いに対応する第1状態と、前記第1の有利度合いよりも高い第2の有利度合いに対応する第2状態と、を少なくとも含む複数のうち1の状態に設定することが可能な特定要素設定手段と、前記特定演出の種別として、前記第2状態よりも前記第1状態の方が実行される割合が高くなる第1特定演出と、前記第1状態よりも前記第2状態の方が実行される割合が高くなる第2特定演出と、を少なくとも含む複数のうち1の種別を決定する種別決定手段と、を備える。

【手続補正5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0010
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0010】

請求項5記載の遊技機は、請求項4記載の遊技機において、前記種別決定手段は、前記特定演出の種別として、前記第1特定演出と、前記第2特定演出と、前記第2状態では実行され得るが前記第1状態では実行され得ない第3特定演出と、を少なくとも含む複数のうち1の種別を決定可能な構成である。

【手続補正6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0011
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0011】

請求項1記載の遊技機によれば、所定の判別条件が成立したことに基づいて判別を実行する判別手段と、その判別手段の判別結果が予め定められた特定の判別結果となったことに基づいて、遊技者に有利な特典遊技を実行する特典遊技実行手段と、識別情報を表示可能な表示手段と、前記判別手段の判別が実行されたことに基づいて、前記判別手段の判別結果を示すための前記識別情報が前記表示手段において動的表示される演出態様を少なくとも含む所定の演出を実行可能な演出実行手段と、を備え、第1の設定条件が成立したことに基づいて所定の遊技状態を設定し、前記第1の設定条件とは異なる第2の設定条件が成立したことに基づいて前記所定の遊技状態を設定する所定遊技状態設定手段を備え、前記遊技機は、前記第1の設定条件が成立したことに基づいて設定された前記所定の遊技状態において、前記第2の設定条件が成立したことに基づいて設定された前記所定の遊技状態で実行される前記所定の演出には含まれない特定の演出態様が含まれる特定演出を実行可能であり、前記特定演出の実行中に、前記判別手段による判別の有利度合いを動的表示されている前記識別情報を用いて示唆可能であり、前記第1の設定条件が成立したことに基づいて設定された前記所定の遊技状態において前記特定演出が終了した後は、次に前記第1の設定条件が成立するまで前記特定演出が実行されない構成であり、前記特定演出は、前記所定の遊技状態よりも遊技者に有利な特定遊技状態において実行されない演出である。

【手続補正7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0016
【補正方法】変更
【補正の内容】

【 0 0 1 6 】

請求項 4 記載の遊技機によれば、請求項 1 から 3 のいずれかに記載の遊技機の奏する効果に加え、前記判別手段による判別の有利度合いに対応する特定要素を、第 1 の有利度合いに対応する第 1 状態と、前記第 1 の有利度合いよりも高い第 2 の有利度合いに対応する第 2 状態と、を少なくとも含む複数のうち 1 の状態に設定することが可能な特定要素設定手段と、前記特定演出の種別として、前記第 2 状態よりも前記第 1 状態の方が実行される割合が高くなる第 1 特定演出と、前記第 1 状態よりも前記第 2 状態の方が実行される割合が高くなる第 2 特定演出と、を少なくとも含む複数のうち 1 の種別を決定する種別決定手段と、を備える。これにより、特定演出の種別によって特定要素の状態を示唆することができるので、特定要素の状態を推測したいと考える遊技者に対して、特定の遊技状態において特定演出が実行されることを期待して遊技を行わせることができる。よって、遊技者の遊技に対する興味を向上させることができるという効果がある。

【 手続補正 8 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 7 】

請求項 5 記載の遊技機によれば、請求項 4 記載の遊技機の奏する効果に加え、前記種別決定手段は、前記特定演出の種別として、前記第 1 特定演出と、前記第 2 特定演出と、前記第 2 状態では実行され得るが前記第 1 状態では実行され得ない第 3 特定演出と、を少なくとも含む複数のうち 1 の種別を決定可能な構成である。

【 手続補正 9 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】3 7 9 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 3 7 9 6 】

1 0	パチンコ機（遊技機）
8 1	第 3 図柄表示装置（第 1 1 実施形態における表示手段）
S 4 5 8	第 1 1 実施形態における判別手段
S 1 0 5 8	第 1 1 実施形態における判別手段
S 1 5 9 3	第 1 1 実施形態における特典遊技実行手段
S 1 9 9 2	第 1 1 実施形態における所定遊技状態設定手段の一部
S 3 1 0 4	第 1 1 実施形態における所定遊技状態設定手段の一部
S 3 1 0 7	第 1 1 実施形態における特定要素設定手段
S 8 2 0 8	第 1 1 実施形態における <u>演出</u> 実行手段
S 8 2 8 4	第 1 1 実施形態における種別決定手段
S 1 0 8 5 3	第 1 1 実施形態における特典遊技実行手段